

# ホイクマ通信



第24号

新年度の慌ただしさもひと段落し、梅雨が明ければ水遊びに運動会など、さまざまな活動を計画している頃ではないでしょうか♪楽しい思い出を作るためにも、暑さに負けない体づくりをしていきたいですね。

さて、いつもアンケートへのご回答ありがとうございます！

他の保育園での取り組みや子どもと関わる工夫など、これからの保育の参考にしてみてください☆

## ホイクマ通信（23号） みんなのアンケート 結果発表

### 《失敗から学んだ工夫と対策》

#### 「安全管理」

- ☆複数の職員で見守っている時ほど、お互いが「見てくれているだろう」と思い込んでしまいヒヤッとする事象が多い。そのため、見守る場所や動きの役割分担を行い、子どもや職員の動きをその都度こまめに伝え合うようにしている。子どもが遊ぶ場所を変えた際やトイレ等で部屋を移動した際に、「〇〇君が◇◇に移動しました。△△先生お願いします」などと声をかけあっている。
- ☆2歳児2人が手を繋いで歩いていた際、1人が転び、もう1人も引っ張られる形で転倒…。その後、園全体で散歩時のルールやコースについて再検討した。手を繋ぐ子どもの組み合わせや、配慮が必要な場所では子ども同士ではなく保育者と手を繋ぐ、年齢や状況に応じて個々で歩けるようにするなど、様々な工夫や対策を講じて安全に活動できるよう改善した。
- ☆ドアを開けた時、近くに子どもがいることが分からず指を挟みそうになってしまった。そのため、開ける時は必ず声を掛けて近くにいる子どもを確認し、必要に応じて注意を促しながら出入りするようにしている。

#### 「保護者対応」

保護者の名前を呼んだつもりが、違う保護者の名前を呼んでしまった。名前を間違えるということは大変失礼であり、また信頼関係にも関わるためとても反省した。それ以降、名前を呼ぶ時には一呼吸置いてから、名前を確認して呼び掛けるなどしている。

主任の先生から、保育中の職員の立ち位置について「子ども全体が見渡せて、何かあった時に駆け寄れる場所が良い」と教えて頂いた。指導を受けた内容は忘れないようその都度メモをし、必要なことを見返しながら保育に入るよう心掛けている。



### 《片付け時の工夫》

#### 「声掛け・呼び掛け」、「整頓」の工夫

- ◇「お片付け〜♪」の歌や音楽で片付けに誘い、子どもと共に片付けをする。また、ごっこ遊びをしている時は遊びの延長で片付けが出来るよう配慮する。
- ◇全体に伝わるように片付けの声掛けした上で、子ども1人1人に対しても片付けを呼びかけて行動に移せるようにする。
- ◇次に行う活動を伝え、子どもが見通しを持って片付けに取り組めるようにする。
- ◇子ども自ら片付けが出来た時にはOKサインやグッドジョブサインを出して褒めたり、「かっこいいね」「さすがだね」等とやる気になるような声掛けをする。
- ◇道具やおもちゃの片付け場所に写真や目印を貼っておく。

#### こんな工夫もありました♡

乳児クラスでは、時計や数字が読めなくても片付けの時間が分かるように、時計の数字に蔓のシールを貼っています。「時計の針が蔓の所にきたらお片付けだよ。」と声をかけることで、乳児さんでも見通しを持って活動できるようにしています。



#### 「楽しくゲーム感覚でお片付け」

ブロックを片付ける時に、「赤色のブロックを集めてね！」と色別での片付けや、「ブルドーザーになって集めてきてね！」など、ゲーム感覚で楽しく行えるように工夫している。

#### 「気持ちの切り替え方の工夫」

ブロックや粘土など、制作途中のものは壊さず残すことで『次の時に続きが作れる！』『今日はここまで作れた！』という安心感や達成感を大切に、気持ちを切り替えて片付けが行えるようにしている。

みなさんがさまざまな失敗から多くを学び、スキルアップされている様子や、片付けについても、子ども自ら気持ちを切り替えて取り組めるようにと日々試行錯誤して保育されている様子が伝わってきました☆

正解は1つではないため、他の方の工夫も参考にしながらご自身の保育に取り入れてみてくださいね！

※紙面の都合上、アンケートの内容を一部省略・抜粋・編集させていただきました。何卒ご了承ください。

## — 子どもの主体性をのばすための工夫 —



近頃は、子どもの主体性を大切にしたい保育が重要視されていますね。子どもが自ら考えて行動できるようにと、みなさんも日々の保育環境を整えているのではないのでしょうか。

例えば、「お絵描き」「おもちゃごと」「ブロック」など自由に選んで遊べるようにコーナー保育を設定したり、子どもと一緒に主活動の内容を考えたり、「挑戦したい！」という気持ちを大切に、難しいかな？と思うことでも挑戦できる機会を設けるなど、子どもの想いを尊重するための工夫はさまざまです。保育に正解はありませんが、子どもたちが自ら遊びや活動に夢中になれる環境をつくり、それを保育者が見守っていくことが、子どもの主体性をのばす保育に繋がっていくのではないかと思います。

そこで、「子どもの主体性をのばすために、こんな保育をしています！」「こういう工夫をしたら、子どもたちの様子がこんな風になりました！」などといった、工夫やエピソードがあればお聞かせください☆



## 保育の魅力とやりがい ♥

保育所では、パワフルな子どもたちと一日を過ごしなが、保育計画などの書類を作成したり、掃除や消毒などの環境整備をしたりと、一日があっという間に過ぎていくのではないのでしょうか。そんな忙しさの中でも、やりがいや充実感が大きいからこそ頑張れる仕事でもありますね！

ホイクマは、子どもの成長を感じたときや、その成長を保護者と共に喜び合えた時、他の職員たちと協力し合い行事をやり終えた時にとてもやりがいを感じます！また、自分が考えた遊びを子どもたちが全力で楽しんでくれた時や素敵な笑顔を見せてくれた時には、「また次も頑張ろう！」と元気をもらいます◎

みなさんは、どんな時に保育のやりがいや魅力を感じますか？

実際にみなさんが体験したエピソードなども交えて、「保育の魅力とやりがい」について教えてください◎



## ～ 暑い夏を乗り切ろう！！ ～ 大人も子どもも熱中症予防が大切 ☆

大人よりも活動量が多く、また地面に近い場所にいる子どもにとって、炎天下での活動は熱中症の危険が高まります。そこで、熱中症予防のための生活の指針となる「暑さ指数(WBGT)」を活用しましょう！活動前にその日の指数を確認し、必要に応じて無理のない活動に変更することも大切です。暑さ指数は環境省のサイトから確認できます☆

### ●何よりも大事！こまめな水分補給を忘れずに！

脱水症状を防ぐため水分補給の時間を決めましょう。コップに注いだ分は飲み切るなど、子どもの発達に応じて必要な工夫や援助、声掛けを行いましょう。落ち着いて飲める環境を整えることも大切です。

### ●室内遊び・過ごし方の工夫

戸外活動が十分にできない分、室内でも体力を発散できるような運動遊びがオススメです。ただし涼しい室内で汗をかくと体が冷えるため、室温の調整は必須です。

### ●戸外遊びでの配慮・夏の遊び♪

テラスや窓辺、遊具などに日よけを設置すると、直射日光を防ぎ、暑さが和らぎます。しかし遊具が熱くなりすぎてやけどに繋がる恐れがあるため、使用前には必ず触れて確認しましょう。日陰が多い近場の公園への散歩や、沐浴や水遊びなど、暑さを和らげる活動を取り入れましょう！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

同封のアンケート用紙にぜひご意見やご感想をお寄せください。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HPでは、「保育所への就職支援（マッチング）」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。併せてお楽しみください。

## こども家庭庁／こども基本法について

こどもや若者が自分らしく成長できる「こどもまんなか社会」を目指して『こども家庭庁』が2023年4月1日に創設されました。また全てのこどもや若者が、将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現するために、子どもの権利などを定めた「こども基本法」も同日に施行されました！！

こども家庭庁では、こども基本法について分かりやすく説明した「こども基本法とは？」という冊子や、子どもでも理解しやすい動画を作成しています。とても分かりやすく見やすいのでこの機会にぜひご覧ください♪

環境省  
熱中症予防情報サイト



こども家庭庁 HP



センターHP



## 東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

保育人材コーディネーターへの相談は平日 9:00～17:30

（受付 9:00～11:30 / 13:00～17:00）



Twitter アカウント  
@hoikuma